

伊丹ルーテル教会 主の昇天主日礼拝

2021年5月16日

前奏：

聖名による挨拶

牧師：父と御子と聖霊の御名によって。アーメン。

会衆：アーメン。

牧師：主よ、わたしのくちびるを開いて下さい。

会衆：そうすれば、私の口はあなたのほまれを告げるでしょう。

一同：父と御子と聖霊の神に、栄光が、初めにそうであったように、
今も、そしてとこしえまでもありますように。アーメン。

招きのことば：詩編47編より

すべての民よ、手を打ち鳴らせ。神に向かって喜び歌い、叫びをあげよ。

主はいと高き神、畏るべき方 全地に君臨される偉大な王。

諸国の民を我らに従わせると宣言し 国々を我らの足もとに置かれた。

歌え、神に向かって歌え。歌え、我らの王に向かって歌え。

神は、全地の王 ほめ歌をうたって、告げ知らせよ。

神は諸国の上に王として君臨される。神は聖なる王座に着いておられる。

罪の悔い改めと赦しのことば

会衆：私たちは生まれつき 自分中心 わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。

思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に
罪人です。神様、ほんとうにごめんなさい。

私たちは祈ります。私たちを救うため あなたがお与えくださった イエス・キリストに
よって、どうかあわれんでください。アーメン。 (短い黙祷を持ちましょう)

牧師：何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子 イエス・
キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。

ですから神様の御言葉をとりつく務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言
します。父と、御子と、聖霊のお名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して
行きなさい。アーメン。

使徒信条

われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。

われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、
陰府(よみ)にくんだり、三日目によみがえり、天にのぼり、
父なる全能の神の右に座したまえり。

生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

我は聖霊を信ず、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、かぎりなきいのちを信ず。**アーメン**。

祈り

愛とあわれみに満ちておられる私たちの父なる神様、

あなたは私たちに救い主イエス様を与えてくださいました。その十字架の苦しみと三日目のよみがえりによって、あなたは私たちに赦しと命を与えてくださいます。私たちの期待や願いをはるかに超えて、あなたは本当に私たちが必要とするものをご存じです。あなたは今日のみ言葉をもって私たちにとどいてくださいます。私たちを復活の希望の証し人として立ててください。今週を、人々の恐れやとまどいを、イエス様にある喜びと祝福に変える一週間とさせてください。

あなたの愛と憐みの中で、先週の歩みも守られました。感謝をいたします。天と地の一切の権威をもって私たちを導き支えて下さるイエス様が、私たちに今日も赦しといのちを与えてくださいます。

新型コロナウイルスの感染拡大によって今多くの方々が苦しみの中におられます。私たちも毎日こわくなります。緊張します。どうぞ、助けてください。

病気の人のお世話をしたり、生きていくために必要なものを整えて働いてくださる方々が苦労しています。お支えください。

今週もビデオやプリントによって、私たちは別々のところで同じ礼拝にあずかります。このために力になってくださった方々を祝福してください。

私たちはよみがえられた主イエス様のみ言葉を聴きます。どうぞお語りください。

このお祈りを、イエス様の御名によっておささげいたします。**アーメン**。

使徒書：エフェソの信徒への手紙 1章 15-23節

こういうわけで、わたしも、あなたがたが主イエスを信じ、すべての聖なる者たちを愛していることを聞き、祈りの度に、あなたがたのことを思い起こし、絶えず感謝しています。どうか、わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の源である御父が、あなたがたに知恵と啓示との霊を与え、神を深く知ることができるようにし、心の目を開いてくださるように。そして、神の招きによってどのような希望が与えられているか、聖なる者たちの受け継ぐものがどれほど豊かな栄光に輝いているか悟らせてくださるように。また、わたしたち信仰者に対して絶大な働きをなさる神の力が、どれほど大きなものであるか、悟らせてくださるように。神は、この力をキリストに働かせて、キリストを死者の中から復活させ、天において御自分の右の座に着

かせ、すべての支配、権威、勢力、主権の上に置き、今の世ばかりでなく、来るべき世にも唱えられるあらゆる名の上に置かれました。神はまた、すべてのものをキリストの足もとに従わせ、キリストをすべてのものの上にある頭として教会にお与えになりました。教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。

福音書：ルカによる福音書 24章 44-53節

イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、あなたがたはこれらのことの証人となる。わたしは、父が約束されたものをあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」イエスは、そこから彼らをベタニアの辺りまで連れて行き、手を上げて祝福された。そして、祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。彼らはイエスを伏し拝んだ後、大喜びでエルサレムに帰り、絶えず神殿の境内にいて、神をほめたたえていた。

説教「手を上げて祝福された」

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、み言葉をとりつぎます。

今朝の礼拝は、主の昇天主日の礼拝です。イエス様が十字架で私たちの罪を赦し、三日目によみがえって私たちに新しいいのちを与え、そして弟子のしている前で天に昇って約束の聖霊をお与え下さったと私たちは信じています。今朝も復活の主をおぼえるご挨拶をしましょう。

「ハレルヤ、イエス・キリストはよみがえられました」と言いますから、皆さんは「ハレルヤ、イエス・キリストはたしかによみがえられました」とおっしゃってください。

牧師：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

会衆：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

よみがえられたイエス様は今どこにおられるのでしょうか。私たちの罪を赦すために苦しまれ十字架につけられて死んでくださったイエス様が、三日目におよみがえりになりましたが、そのあとイエス様はどうなったのでしょうか。

今日読まれたルカによる福音書 24章では、この福音書を閉じるにあたってよみがえられたイエス様が弟子たちの前で天にあげられた、と記しています。ルカはイエス・キリストの誕生から天にあげられた昇天までを福音書に記しています。ルカは、イエス様が昇天されたところか

らはじめて、あらゆる国の人々に罪の赦しをもたらす悔い改めが宣べ伝えられたいきさつを、新約聖書の中のもうひとつの書である使徒言行録に記しています。使徒言行録1章3節にはイエス様がよみがえられたあと更に四十日にわたって弟子たちに現れて神の国について語られた、と記しています。そしてイエス様はエルサレムの郊外のベタニアというところにお弟子たちを導いて、天に昇られました。今朝はその箇所から、過去、現在、未来についてみ言葉を聞きたいと思います。

ルカによる福音書24章45節にイエス様はお弟子たちが聖書をさとることができるように、お弟子たちの心の目を開いてくださいました。それまで何度も聞いていたみ言葉です。イエス様に心の目を開いていただいたお弟子たちは旧約聖書がイエス様について語っていることがすべて実現することを信じることができました。救い主として私たちのところに来てくださったイエス様は、私たちのために苦しみを受けて十字架で死んでくださいました。そして三日目に死者の中から復活してくださいました。このあとはすべての国の人々に罪の赦しを得させる悔い改めが宣べ伝えられます。

弟子たちはそれまで三年間イエス様のそばに従って歩きました。人々に力強く神の国を宣べ伝えたイエス様を神の御子と信じ、ほんとうに神の国をもたらしてくださると思っていました。しかし、エルサレムで捕らえられ、苦しめられ、十字架につけられたときには、弟子たちは怖くなって逃げてしまいました。ローマ帝国の属国からイエス様がダビデの国のようなイスラエルの人々の大帝国を打ち立てて下さると考えていたのでしょうか。弟子たちはイエス様の苦しみと十字架を受け入れることができませんでした。道半ばで殺されたのです。むなしくなりました。絶望しました。そして、それ以上に、そのイエス様がよみがえったということはいったいどういうことなのか、弟子たちには理解できませんでした。イエス様が何度も姿をあらわしてくださいしても、彼らは混乱のあまり亡霊を見ていると思ったほどでした。

うろたえて心に疑いが満ちていた弟子たちに、イエス様は手や足を見せ、触ってごらんと言われ、また「何か食べ物がありますか」と言ってさしだされた焼いた魚を一切れ食べてくださいました。弟子たちはようやくよみがえられたイエス様がそこにおられるとわかってきました。

イエス様は過去のこれまでの歩みの意味を教えてくださいました。イエス様はそのとき彼らの心の目を開いて、旧約聖書を解き明かしてくださいました。これまでイエス様がなされたこと、死なれたこと、よみがえられたことは、聖書に記されていたことが実現したということです。弟子たちは救い主が死んではいけない、というのは、聖書に記されていたことではなく、自分たちが勝手に思い込んでいたことに気がきました。聖書にはすべての国の人々の罪の赦しのために、救い主イエス様が代わりに死んでくださることが記されているのです。

自分の期待、自分の思い込みを投影してイエス様に従っていた弟子たちでしたが、ここでよみがえったイエス様によって心の目を開いていただきました。そして、それまで読んだり聞いた

りしていた聖書のみ言葉が、イエス様が罪を赦す救い主であることをあらかじめ語っていたこと、そしてイエス様がそれを実現してくださったことに気付いたのです。自分たちの罪を背負ってイエス様が十字架にかかって死んでくださって、罪の罰を自分たちの代わりに償ってくださったことが初めてわかりました。これまで知っていたことと、今、イエス様が成就してくださったことがぴったり一致していることがわかり、心にじっくり納得できたのですね。

イエス様がそれまでにしてくださったことの意味を知って、弟子たちの心は一転して喜びに変えられました。あなたも今朝あらためてイエス様があなたのためにしてくださったことを知りました。よみがえったイエス様は、聖書のみ言葉が示しているイエス様の苦しみとよみがえりが、私の罪の赦しのための言葉であった、とわかるように、今朝、あなたの心の目を開いてくださっています。それまで恐れおののきうろたえていた弟子たちは大きな喜びに包まれました。これまで神様の救いを自分の期待や願いの延長上に描いていた弟子たちにとってイエス様の十字架は絶望でよみがえりは困惑でした。けれども聖書にあるように、イエス様は十字架で罪の赦しを成し遂げてくださいました。聖書にあるようによみがえって新しいのちをあたえてくださったのです。イエス様があなたにご自身をあらわして、生きておられることをお示しになり、あなたの心の目をイエス様がひらいてくださって、あなたも同じ喜びに満たされます。

イエス様は将来のこと、これからのことを示してくださいました。弟子たちに与えられたこの大きな喜びがあらゆる国の人々に宣べ伝えられるということです。イエス様を信じて、罪が赦され神の子とされて新しい使命に生きるようになった弟子たちが、イエス様を信じて罪が赦され神の子とされて新しい使命に生きるようになる、と、エルサレムから始めてあらゆる国の人々に宣べ伝えるのです。イエス様の証し人となって遣わされていくのです。

それも自分の力や知恵によるものではありません。イエス様が昇天することによって父なる神様から与えられる約束だった聖霊が弟子たちにのぞみ、力を帯びることになります。イエス様は弟子たちの目の前で天にあげられました。使徒言行録で見ると、雲がイエス様をおおって見えなくなりました。天のかなたのどこかへ行かれた、というのではなく、神様であり人であるイエス様が、人の目にみえなくなって父なる神様の右に座られたということです。父なる神様はどこにでもおられる方です。今はイエス様はその権威をあずかって、目には見えませんがどこにでもいてくださいます。そして、聖霊は私たちの心の目をひらいて聖書を通してイエス様のことを示してくださいます。イエス様の言葉に従って聖餐の礼典にあずかるとき、聖霊はそこでイエス様のからだと血があなたのために与えられることをわきまえさせてくださいます。わたしたちは礼拝でイエス様のみ言葉を聞き、聖餐のめぐみにあずかり、悔い改めてイエス様を信じる信仰が作られ、豊かにされていきます。聖霊がみ言葉と礼典を通して働いて、自分の期待や思い込みではなく、聖書の語るイエス様による罪の赦しをあなたに与えてくださいます。

あなたのこの一週間は、イエス様によって罪を赦された新しい人として、安心して生きて働いておられるイエス様と共に生きる喜びの日々となります。心の目が開かれて、期待通りではな

い現実を認め、赦せない人を赦し、少しのことでうろたえていたところを大きな喜びで満たされます。

ルカ 24:48-49 「イエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、あなたがたはこれらのことの証人となる。」

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いを、キリスト・イエスにあってまもってくださいます アーメン

牧師：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

会衆：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

讚美歌 526 番 「主よ、我が主よ、愛の主よ」 1, 2, 4 節

1. 主よ、我が主よ 愛の主よ 主は我が身の 救い主

※**かくまで主を 愛するは 今日初めの 心地して**

2. 主は十字架を まず負いて 愛の御手を のべたもう ※

4. 玉(たま)の冠(かむり) 受くるとき この歌をば 主に献げん ※ **アーメン**

主の祈り

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たらせたまえ。みこころの天になるごとく地にもならせたまえ。われらの日用のかてを今日も与えたまえ。われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり
アーメン

頌栄の讚美歌 543 番

主イエスの恵みよ、父の愛よ、御霊の力よ、あぁみ栄えよ。 **アーメン**

祝福のことば

仰ぎ来い願わくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しき御交わりが、それぞれのところで共に礼拝にあずかっておられる一同とともに、今日も、この一週間も、いく久しくとこしえまでも、ゆたかにありますように。 **アーメン**

アーメン三唱、後奏